



みらい子育てネットだより

発行 / 全国地域活動連絡協議会



CONTENTS

新年度のごあいさつ	1
全国大会のご報告 / 役員紹介	2
平成20年度事業のご報告	3
平成21年度事業計画・予算・スケジュール	5
全地協表彰者 / 児童館紹介	7
地域活動研修会のご案内	8
みんなのひろば	9
事務局NEWS	11

「クリスマス会でクッキング」 勝山市北郷母親クラブ (福井県)

全員が心をひとつにして「ロングロール巻き寿司」作りに挑戦。大満足の子どもたちでした。

表紙写真へのご応募ありがとうございました。



「親子手作りクッキーづくり」

木花地域活動クラブ (宮崎県)

ファスナー付きのポリ袋にクッキーの材料を入れて混ぜ、あとはオーブントースターで焼くだけ。小さな子も粘土遊びの要領で楽しみました。

子どもの遊び応援隊・母親クラブへの期待

厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 育成環境課長 真野 寛



母親クラブの皆様におかれましては、日頃より子どもの幸せを第一に考え、地域の子育て支援活動や子どもの安心・安全事故防止活動など、子どもたちの健やかな育ちを地域の方々と協力して推進されていますことに、深く感謝申し上げます。

さて、社会の状況を見てみますと、都市部や繁華街に限らずごく普通の住宅地などでも様々な事件が発生したり、また家庭におきましても子どもや高齢者の命が奪われるような事件が起きたりと、混沌とした様子が垣間見られます。

地域によっては依然として「外で遊ばせることに不安がある」という親御さんもいらっしゃるのではないのでしょうか。また、子どもたちの生活状況を見ましても、外遊びよりも室内での遊びに、そして多くの友だちと遊ぶよ

りも手軽なゲームなどで遊ぶといった傾向が見られるようです。これでは、子ども時代の「友だちとの外遊び」から体得すべき多くのことが十分に得られないのではないかと心配をしております。

子どもの遊びは、現代社会において求められる「社会性・自主性」といった、人との関係を上手につくるために必要な能力を培う最も大切な時間や場であると考えられます。このような中にあって、母親クラブの皆様の「遊び場・遊具の点検」「公園の防犯点検」といった定期的かつ積極的な活動は、子どもたちに「地域の安心・安全な遊びの場」をご提供いただけるものと大いに期待をいたしております。まさに、地域における「子どもの遊び応援隊」として、今後とも児童館・児童遊園や子育て支援団体との連携・協力を深めながら、ご活躍いただきたいと願っております。

皆様のお一層のご尽力によりまして、必ず子どもたちの歓声が、地域の公園・広場から聞こえてくることと信じております。

子どもたちの笑顔を願って

全国地域活動連絡協議会会長 中村 京子



春は芽ぶぎのとき、そして希望や期待で心弾む季節です。新入生たちは、新たなものへとの出会いにワクワクしていることでしょう。全国の母親クラブの皆さんはきっとそんな子どもたちの期待に答えようと春の行事に取り組まれていることと思います。

24年前の春、私は娘と初めて児童館行事に参加しました。それは新入学児と新親子クラブの歓迎会で、長い棒の先にパン生地を巻きつけて焼き、母親クラブの人たちの手作りジャムを付けていただきました。食が細かった娘がこの時ばかりは大喜びでいただいたことを鮮明に覚えています。それ以来娘は児童館の大ファン、私は母親クラブに魅せられ24年が過ぎました。その頃は地元の子どものための活動が主で、そこに高齢者や子育て中の人に加わり母親クラブの輪が少しずつ広

がっていきました。時が移り、今や母親クラブは社会的にも期待され地域における子育て支援の中核的存在となりました。

一方、社会安全の乱れ、核家族や働く母親の増大など子どもを取り巻く環境が大きく変化し、子育て支援の内容も変わってきています。このような中、全地協では「遊具の点検」をはじめとした安全活動に加え、昨年からの「放課後子どもプラン」を必修とした研修会に24の地協が取り組みました。2月の会長会議で各地協から活動が報告されましたが、どれも時代や社会のニーズに即した素晴らしいものでした。

かつてない経済の悪化が子育て（支援）にまで影響しかねない昨今ですが、このような時こそ知恵を出し合い、子どもたちの笑顔をいつまでも続くよう頑張っていきたいと思えます。この2年間微力な私を支えてくださった皆様に心からの感謝を申し上げますと共に更なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

全国大会のご報告

力を合わせ、地域に根ざした活動を

●開催場所…栃木県宇都宮市ホテルニューイタヤ

●開催日程…平成20年11月6日(木)・7日(金)

●参加人数…1日目237名 2日目135名

延べ372名

●主なプログラム

「1日目」 開会式・行政説明・講演・事例発表・意見交換会

「2日目」 フォーラム(2部構成)

前日までの雨も上がり、お揃いの赤いバンダナを身につけたスタッフ一同は準備万端、緊張の中にもワクワクしながら参加者の到着を待ちました。開会行事も終了し、次のプログラムは、県内在住の絵本作家いわむらかずお先生による「農場のある美術館」と題された講演です。人柄そのままに温かく自然体でゆっくりとした語り口。絵本の世界にひきこまれていくように会場内はやさしさに包まれました。

事業説明後は事例発表です。会員増加に成功し活発に活動している「万寿の子会東母親クラブ(岡山県倉敷市)」と、新規に立ち上げ、活発に活動しているクラブ「ままらんぼ母親クラブ(山形県東根市)」で、どちらも工夫を凝らし、時には方言を交えて紹介していただきました。意見交換会にはいわむらかずお先生も出席。華を添えていただきました。皆さんは名刺交換や意見交換をし、テーブルの間を歩き交うなど活発に交流されていました。

2日目はフォーラムで、テーマは「つながるよ

めとめをあわせてはなしたらく地域に根ざした活動」とし、栃木県の単位母親クラブが直面している問題をサブテーマとしてつけさせていただき、第一部は「自主運営の努力」、第二部は「人数減少、後継者不足への対策」と、2部構成でのプログラムとなりました。

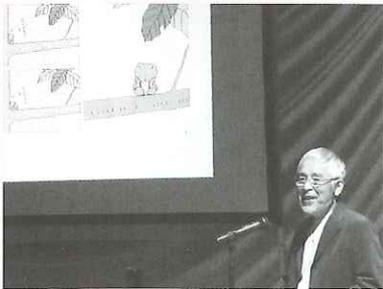
パネリストとコーディネーターは県地協内部から人選し、助言者として厚生労働省児童健全育成専門官柳沢邦夫様をお願いしました。質疑応答が活発になされ、会場参加型のフォーラムとなりました。

全国大会に向けて会議を重ねる中で支援していただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

栃木県地域活動連絡協議会 会長 奥村美佐子



2日目のフォーラムは2部構成で開催



絵本作家いわむらかずお先生による講演

今年度新役員の皆さんをご紹介します

副会長 吉田しをり(岡山県地域活動連絡協議会 会長)



全国の副会長になり、厚生省の訪問や全国大会・ブロック研修会に参加。色々な人たちとの出会いの中で、学びながら、交流を大切にしていきます。

理事 佐々木とし子(宮城県地域活動連絡協議会 会長)



より良い活動がさらに推進できるように、皆さんの声を届けていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

理事 加納永子(静岡県地域活動連絡協議会 会長)



23年の活動歴はありますが、まだまだ勉強中です。これからもアドバイスをよろしくお願いたします。

理事 高木美恵子(大分県地域活動連絡協議会 会長)



力不足ですが、皆さんのご意見を聞かせていただき、会長を中心に開かれた明るい理事会運営を目指し努力していききたいと思えます。

監事 山田桂子(和歌山県地域活動連絡協議会 会長)



子どもたちの明るい未来のために、子育て、子ども育て、地域育ての種をしっかりとまき、芽が出て花を咲かせるように歩んで行きたいと思っています。

監事 高山文子(宮城県地域活動連絡協議会 会長)



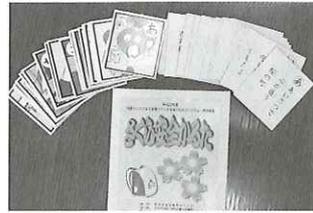
九州の副ブロック長に選出され、今度は全地協の監事にとのこと。しっかりと見て、聞いて、お役を務めたいと思えます。

母親クラブによる「協働でつくる地域の安全プログラム」開発事業

地域の児童館や児童センター、小・中学校やPTA、行政、地元の色々な団体など、それぞれの地域の実情に沿って「協働」しながら子どもたちの安全を守るプログラム。平成18年度にスタートしたこの事業も3年目を迎え、20年度は全国7カ所の母親クラブが熱心な活動を展開しました。各クラブの活動の一端をご紹介します。

秋田県 桜児童育成クラブ

「安全カルタ」づくり



桜小学校全児童にカルタの「読み札」「絵札」づくりの協力依頼をし、たくさんの方の応募を得ました。子どもが関わったカルタなので、保護者と共に安全や防犯について考える機会となりました。このほか、市民グループや警察署と協働して、防犯やメディアについての講座を開催しました。

新潟県 児童育成・万代クラブ

「子どもまつり」で安全啓発



万代児童遊園を活用した屋外プログラムを実施。「地域の安全プログラム」のための子ども向け大型紙芝居を上演したり、読み聞かせグループによるおもしろ紙芝居昔遊びコーナー、工作コーナーなど、楽しみながら「安全」を子どもたちに伝えることができました。

富山県 みずばしょうクラブ

「パネルシアター」の上演



地域の防犯・安全意識を高めるため、パネルシアター「南ちゃん」の放課後日記を作成。地域の小・中学校や公民館、また城端子ども会育成会との共催によるイベントやみずばしょうクラブのレクリエーション大会の際にも上演し、地域のネットワークが広がりました。

山梨県 敷島地区母親クラブ

絵本づくりと読み聞かせ



絵本は子どもと保護者の視点から作ることで、子どもたちや児童厚生員らも関わり、「あぶないからいっちゃダメ」「そんなときどうする」といったタイトルの19作品をみんなで楽しく作りました。児童館祭りで展示したり、読み聞かせを行いました。

19年度の事業と合わせて紹介しています。
<http://www.hahaoya-club.ne.jp/community/>
 ※この事業は(財)子ども未来財団の助成を受けて(財)児童健全育成推進財団が実施した事業です。

香川県 愛和母親クラブ

交通安全劇「みんなの命をマモルンダー」



まず、子どもたちと一緒に劇中歌「交通安全マーチ」の歌詞をつくり、みんなと協力しながら台本を作成。信号機の見方など小さい子にもよくわかるよう工夫し、大人が真剣になつて夜遅くまで練習。その結果、感動的な楽しい劇に仕上がりました。発表会は大盛況となりました。

大分県 カレイなる日出町母親クラブらんらん

「らんらんマップ」作成



母親クラブの立ち上げから始め、「日出町をもっと良くするプロジェクト」として、母親クラブならではの活動を展開。そのひとつとして民生委員と一緒に危険箇所を検証しながら今までのマップを作成して、町内全戸に配布。地域のネットワークも広がりました。

鹿児島県 紙ふうせん

「ギルトシアター」の発表



子どもたちが「交通ルール」について楽しみながら学べるギルトシアターを作成。中高生ボランティアのアイデアも取り入れました。保育園の行事で発表会を行い、同時に「交通安全教室」も実施して交通マナーを学びました。今後も幼稚園や保育園への貸し出しを計画。

母親クラブによる『地域の安全システム』モデル事業

独立行政法人 福祉医療機構の助成を受け、全国 5 カ所の母親クラブが取り組んできたこの事業も各地のフォーラムで活動のまとめを行いました。事業をきっかけに様々な団体と協働することで、これからの活動に広がりが見えてきました。今回は、フォーラムの内容と各地で独自に行ってきた活動をご紹介します。(共通モデル事業の内容については前号 19 号を参照)

また、今年度は実施地域を拡大し、全国 30 カ所で防犯アンケート、全単位クラブで虐待防止アンケートを実施する予定ですので、ご協力をよろしくお願いたします。

実施クラブ

独自事業の内容

フォーラムの内容

春日児童館母親クラブ



岩見沢市

地域と子どもをつなぐコミュニティ作りを目指し、地域住民も対象とした絵本の読み聞かせや昔遊び講習会、理科の実験教室などを実施。広く協力者を呼びかけました。

前半は読み聞かせと危険マップの配布と説明、後半は児童文学作家や書店主の講演を盛り込み、子どもたちの安全について考えてもらう 2 部構成で実施しました。

小松島児童館子育て支援クラブ「つきやま」



仙台市

養護施設園長を講師に子育て講演会を実施。後半は参加者の輪に講師が加わり、悩みなどを話し合う座談会。託児を設け、子育て世代が参加しやすい環境を整えました。

事業の最終報告と中村攻委員長の講演会を実施。保護者から関係団体、交番のお巡りさんまで参加者も多岐にわたり、会員同士の絆も深まりました。

赤穂市坂越地区母親クラブ



赤穂市

共通事業のアンケート結果をもとに、子どもたち自身が危険な場所がどこなのか、どのように危険なのかを確認できる地図を作成しました。

事業の最終報告と沢崎俊之委員の講演会を実施。参加者はアンケート協力先の小学校や幼稚園の保護者。改めて子育てについて振り返る機会に。

みつこっこ



岡山市

「虐待防止システム」の構築に重点をおき、乳幼児親子向け遊びのプログラムや高校生向け虐待学習会などを。また、子育て中の親向けに沢崎委員の講演会を実施しました。

事業の最終報告とともに、関係団体の代表者が虐待予防に向けて連携して何ができるかを話し合い、さらに子育て中の母親たちを交えた座談会も開催しました。

南小倉児童館母親クラブ



北九州市

「虐待防止システム」の構築に重点をおき、乳幼児親子向け遊びのプログラムやおでかけイベント、悩み相談など親のニーズに応じて多彩な企画を用意しました。

「校区で見守る安全・安心」をテーマに警察署から講師を招き、講演会を実施。また、学校と連携をとりながら児童館や母親クラブができることは何かを話し合いました。

平成21年度の運営・活動計画

去る2月19日～20日、平成20年度の報告と平成21年度の全地協の運営・活動に関わる重要事項を決定するための通常総会、全国会長会議等が、東京都渋谷区のごどもの城で開催されました。その主な決議内容をご報告します。



全国会長会議

平成21年2月19日(木) 13時30分～17時

第1部 勉強会

財団法人インターネット協会の大久保貴代主任研究員を講師に招き、「子どもたちの携帯利用と有害サイトの実態について」の勉強会を行いました。

第2部 全国会長会議

各地の情報交換や今年度事業の説明が行われ、地域活動研修会については、助成先の財団法人こども未来財団・上村雅規研修事業部部长、横山和紀主任より説明がありました。その他、参加者による活発な意見が交わされ、白熱した会議になりました。

平成20年度通常総会

平成21年2月20日(金) 9時30分～12時

決議された事業計画の中から主な内容をピックアップしてご紹介します。

- ①平成21年度会費および事業計画・収支予算について(次ページ参照)。
- ②新年度役員の選任および会長、副会長の選出について(1～2ページ参照)。
- ③全国大会・ブロック研修会の日程(下欄を参照)。
- ④平成21年度の主な事業・活動について(次ページ参照)。

平成21年度のスケジュール

平成21年	4月	6日(月)～15日(水)	●春の全国交通安全運動(協力行事・後援団体)	
	5月	5日(火・祝)～11日(月) 6日(水・振休) 20日(水)	●児童福祉週間(協力行事) ●児童健全育成フェスタ2009(協力事業) ●みらい保険 平成21年度保険期間開始日	
	6月	4日(木)	●第1回理事会(監事監査を実施) ●臨時総会(持ち回り総会/平成20年度事業報告・収支決算の承認) ■6月～11月 第1回ブロック会議の開催	
	7月	9日(木)～10日(金) 12日(日)～18日(土)	●公園の防犯活動月間(全国統一事業) ●中国・四国/九州ブロック研修会(宮崎県宮崎市) ●第7回母親クラブによる遊び場安全点検週間(全国統一事業)	
	8月	27日(木)～28日(金)	●道路ふれあい月間(協力行事) ●北海道・東北/関東・甲信越ブロック研修会(青森県弘前市)	
	9月	10日(木)～11日(金) 21日(月・祝)～30日(水)	●東海・近畿・北陸ブロック研修会(兵庫県神戸市) ●秋の全国交通安全運動(協力行事・後援団体)	
	10月	1日(火)～12月31日(木)	●共同募金運動(協力行事)	
	11月	5日(木)～6日(金)	●全国大会(岡山県倉敷市) ●第2回理事会	
	12月		■12月～2月 第2回ブロック会議の開催	
	平成22年	1月		
		2月	19日(金) 20日(土)	●第3回理事会・全国会長会議 ●通常総会(平成22年度事業計画・収支予算の承認)
		3月		

主な事業・活動

■新事業 一家の外の安全、内の安心なか

平成21年度福祉医療機構の助成事業
「母親クラブによる『地域の安全・安心対策と
児童虐待予防』事業」

平成20年度「母親クラブによる『地域の安全シ
ステム』モデル事業」の活動成果を分析・反映
して、母親クラブの「地域の安全・安心対策」と「児
童虐待予防」活動の定着と普及を図ります。
企画運営委員会の発足

中村攻千葉大学名誉教授を委員長、沢崎俊之埼
玉大学教授を委員に、各ブロックから1名ずつ
の母親クラブ関係者の選出を予定しています。

「地域の安全・安心対策」
『子どもたちと作る地域の安全活動マニュアル』
を作成、全国30カ所小学生アンケート、ワー
クショップを実施します。

「児童虐待予防」
「親子コミュニケーション・チェックシート」を
作成し、主に単位クラブ会員が記入後返送。内
容を分析しリーフレットを作成して配布します。

■昨年引き続き「遊び場遊具の点検活動」 「公園の防犯活動」を実施

「遊び場遊具の点検活動」例年通り年7月
「公園の防犯活動」7月12日(日)～18日(土)

■広報・情報発信ツールの充実

ブロックの通信委員を中心に、全地協案内、機
関誌、ホームページなど各種ツールを見直し、
広報・情報発信活動のさらなる充実を図ります。

平成21年度の予算

一般会計収支予算 平成21年4月1日～平成22年3月31日

収入の部 (単位：円)

科目	本年度予算額	摘要
I 会費収入	2,390,000	
II 特別会費収入	2,300,000	「みらい」保険の制度運営費
III 助成金収入	4,400,000	財団法人児童健全育成推進財団
IV 協賛金収入	0	
IV 雑収入	10,000	
当期収入合計 (A)	9,100,000	
前期繰越収支差額	6,538,000	本年度予算額は1月末見込額
収入合計 (B)	15,638,000	

支出の部 (単位：円)

科目	本年度予算額	摘要
システム費	100,000	
ホームページ改定費	500,000	ホームページ改定
ブロック会議開催費	700,000	年2回分(旅費・会場費・茶菓代を含む)
機関誌作成費	1,250,000	年2回発行
遊具の点検全国キャンペーン	1,000,000	点検票印刷・直送・返送代、 集計費、報告書作成費等
公園の防犯関係費	1,150,000	
ちらし作成費	600,000	全面改定
表彰関係費	120,000	
旅費交通費	2,700,000	総会、理事会、全国大会・ブロック研修会(事務局)
推進対策費	900,000	全国大会・ブロック研修会の動員経費
加入促進費	920,000	「みらい」保険制度運営費
印刷費	300,000	封筒他
会議費	600,000	総会、理事会
通信運搬費	400,000	
消耗品費	100,000	
賃借料	100,000	倉庫代、理事会・総会部屋代
子育て支援	300,000	子育て支援事業(特別会計)関係費用
モデル事業支援	0	
雑費	150,000	
予備費	0	
当期支出合計 (C)	11,890,000	
当期収支差額 (A) - (C)	△2,790,000	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	3,748,000	

■平成21年度の全地協会費■

平成20年度と同様

2万円+4月1日のクラブ数×千円

特別会計収支予算

以下の2つの会計があります。(詳細は省略)

①地域組織活動支援事業

全国大会・ブロック研修会開催を管理する特別会計です。(財)こども未来財団から1,100万円、および(財)児童健全育成推進財団から150万円の助成金と参加者一部負担金が87万円、合計1,337万円で運営されます。

②子育て支援事業

独立行政法人福祉医療機構の助成事業「母親クラブによる『地域の安全・安心対策と児童虐待予防』事業」を管理する特別会計です。福祉医療機構から約883万円の助成で運営されます。

受賞おめでとうございます。

第23回(平成21年度)全地協表彰者

個人の部

地協名	氏名	所属クラブ名
北海道	牧野 照美	函館市高盛母親クラブ
	亀谷 哉代	余市町沢町児童館母親クラブ
	小川 恵子	岩見沢市中央児童館母親クラブ
宮城県	山田 るみ子	塩竈市梅の宮母親クラブ
	千葉 裕子	美里町みらい子育てネットきららクラブ
仙台市	小林 良子	水の森子育て支援クラブ
栃木県	廣田 洋子	足利市山川地域活動クラブ
	尾花 やよえ	
群馬県	長野 玲子	伊勢崎市児童センター母親クラブ
福井県	三田村 あき子	王子保母親クラブ
	平澤 成代	しきぶ母親クラブ
静岡県	加納 永子	富士宮市桜ヶ丘母親クラブ 富士宮市富っこ21母親クラブ
	望月 久美子	大宮母親クラブ
	勝又 鈴子	御殿場市ゆうゆう母親クラブ
	高田 和代	
	鎌野 里美	
	山崎 清恵	
	市川 桂子	
	池田 利枝子	
兵庫県	大塩 昌子	
和歌山県	南方 世津子	関戸2母親クラブ
	南村 康子	初島母親クラブ子供クラブ
岡山県	小野 朋子	倉敷南母親クラブ
広島県	万徳 英子	呉市二川地域活動連絡協議会
広島市	南 和子	楽々園母親クラブ
山口県	中川 あけみ	野口母親クラブ
北九州市	松本 弘子	葛原児童館母親クラブ
沖縄県	宮城 洋子	赤道児童センター母親クラブ

団体の部

地協名	団体名
北海道	滝川市北地区児童センター母親クラブすずらんの会
	釧路市愛国児童センター母親クラブ
宮城県	吉田児童館 吉田母親クラブ
	柴田町 We's 地域活動クラブ(母親クラブ)
	柴田町 杉の子 地域活動クラブ
栃木県	小山市わらし母親クラブ
兵庫県	姫路市立安室児童センター地域活動クラブ
和歌山県	広瀬地区母親子どもクラブ連絡協議会
岡山県	加茂町母親クラブ「なすの会」
広島市	楽々園母親クラブ
	藤の木母親クラブ
	安北母親クラブ
山口県	向島母親クラブ
熊本県	花園児童館母親クラブ
大分県	すこやか クラブ
	MC サークル

●表彰式は11月5日(木)・6日(金)の全国大会(岡山県倉敷市)で行います。



昨年度の全国大会での表彰式の様子

児童館紹介

母親クラブ活動が活発な児童館です
沖縄県宜野湾市 赤道児童センター

チュイシージー(お互いに助け合い)をモットーとする赤道児童センターでは、母親クラブがしっかりと根をおろし地道な活動を続けています。

4月は新1年生へ手作りの「貝のお守り」寄贈。6月は幼児クラブで歯みがき指導、7月の親子ピクニック、8月のソーメン流し、10月にはシンメーション(大きな鍋)で作るカレー、12月は沖縄そばでの年越しなど、多彩なイベントが目白押しです。

子育て真最中のお母さんたちがユンタク(おしゃべり)しながら手書きで作る母親クラブだより「まっぼっくり」も、本年2月で第144号の発行となりました。子育てを終えたお母さんが保育サポーターとして、また子育ての先輩として参加し、さりげなく息抜きのできる居場所をつくってあげるなど、児童センターを運営している行政側としてもありがたいことだと感謝しています。

地域のお母さん、お父さんが地域の子どもたちをわが子のように優しい気持ちで見守り迎えてくれる母親クラブと児童センターが一体となり、これからも長く、子どもの育ちを応援し続けられる拠点でありたいと願っています。

館長 嘉手納貴子



「平成 21 年度地域活動研修会」のご案内

各都道府県（市）の地域活動連絡協議会等が行う研修会への委託事業です。
昨年度は 24 の地域活動連絡協議会で行われました。

■事業の目的

この事業は、各地域において児童の健全育成の推進に努めている地域活動を支援し、「放課後子どもプラン」などの充実と子育て支援関係機関・団体等の連携・強化を図るための研修会をこども未来財団との共催により実施し、児童の健全育成の推進に資することを目的としています。

■研修の内容

研修の内容は、次のテーマから選択し研修会を実施します（重点テーマを制定する予定です）。また、開催地の実情に合わせて適宜追加することができます（テーマは変更になる場合があります）。

〈予定テーマ〉

- ・「放課後子どもプラン」について
- ・子どもの携帯電話やインターネットの適切な利用について
- ・子どもの発達と心理について
- ・食育について
- ・児童虐待防止について
- ・「こんにちは赤ちゃん事業」について
- ・障害児への理解について
- ・児童の救急救命等事故防止について



昨年度の研修会風景から。
上：佐賀県地協の「地域活動 情報発信講座」
中：みらい子育てネット山形の「救命救急法の講座」
下：兵庫県地協の「兵庫県中ブロック研修会」

■主催等

本事業は実施する地域活動連絡協議会と財団法人こども未来財団が主催します。

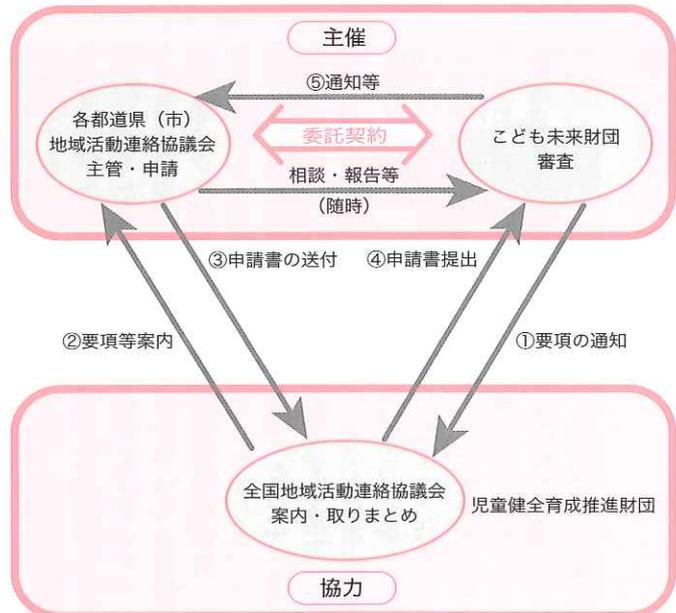
■お問い合わせ先

財団法人 こども未来財団 研修事業部
TEL 03-6402-4821

■募集期間

平成21年4月1日(水)～平成21年5月10日(日)
多くの地域活動連絡協議会からのお申し込みをお待ちしています。

主な流れ



みんなの *ひろば

今日もどこかで
元気に活動を続けている
母親クラブ。
各ブロックから届いた
活動レポートを
ご紹介します。



東海・近畿・北陸
ブロック



中国・四国ブロック



九州ブロック



北海道・東北ブロック



関東・甲信越ブロック

■北海道・東北ブロック



東根市ままらんぼ母親クラブ

- 所在地 山形県東根市
- メンバー数 35名

お父さんも巻き込んだ
「夫婦一緒に参加型」。
今までにない
東根を越えた活動です。

東根市では、以前から児童館を拠点とした母親クラブの活動が活発で、これまでも「遊び場や遊具の安全点検」「地域の安全システムモデル事業」などに地域、行政と一緒に取り組む、マスコミにも取り上げられるなど大きな成果をあげてきました。行政との連携が密になるにつれて、私たちの声も少しずつ反映されていくようになりました。そんな中、市の担当者から児童館を越えた母親クラブを結成しないかと声がかかり、有志を募って「ままらんぼ母親クラブ」を立ち上げました。お母さんはもちろんお父さんも巻き込んだ「夫婦一緒に参加型」の母親クラブ。東根特産さくらんぼに名を重ね「ままらんぼ」と命名しました。

平成20年4月の結成後は、こども未来財団の研修事業に実行委員の一員として協力・参加させていただけました。父親の子育てをテーマにしたお父さんと子どもが主役の研修会も好評で、後の交流会も大いに盛り上がりました。今までにない東根を越えた形での母親クラブ活動。ともに手をつなぎながら自分たちができること・やりたいことが少し見えてきたような気がしてきました。

(会長 細谷 由紀)

■関東・甲信越ブロック



杉並区母親クラブ(14クラス)

- 所在地 東京都杉並区
- メンバー数 420名

絵本のリサイクルで
ものを大事にする心と
絵本の楽しさを
親子に届けました。

杉並区子ども子育て行動計画の一環として開催される「すぎなみ子ども・子育てメッセ」。4回目の今年は若い親子から年配の方まで約2千人が来場。杉母連では、活動の展示発表と昨年に続き「絵本のリサイクルコーナー」を企画実施しました。60以上の団体が参加するメッセで、1団体が広いスペースを確保するのは特別なことですが、そこは母親クラブ、児童館と一体となった日ごろの活躍が認められ、今回もゆったりとスペースをいただけました。

会員が奔走して、提供していただいた8百冊以上のリサイクル絵本が、新しい持ち主に選ばれ、再び子どもたちを楽しませることができました。すべてのクラブから応援が出て、本を集めることから運搬、清拭と補修など、手間暇を惜しまずに再生されて、再び活かされる本。「この子にはどんな本がいいですか?」「これを読んでみて!」と、会員とお客様は対話しながら絵本を選んでいきます。好きな本を好きなように選べるとあって、子どもたちの目もきらきら。若い家族に、物を大事にすること、絵本の楽しさを一緒に届ける、素敵な活動です。

(会長 鈴木 真知子)

■東海・近畿・北陸ブロック



静岡県地域活動連絡協議会

- 所在地 静岡県静岡市
- メンバー数 40クラブ
1933名

静岡駅の冬の風物詩。
交通安全を願って
子どもサントが
手作りマスクットを配布。

静岡県地域活動連絡協議会は、毎年2回の研修会と、12月には「子どもサント交通安全キャンペーン」を実施しています。この事業は、JR静岡駅構内において、サントの衣装を身にまとった子どもと会員が、交通安全を願って「手作りマスクット」を配布するというものです。マスクットは、「無事に帰るのを待つ」という願いを込めた「まちこ人形」。県下の単位母親クラブの協力のもと約6百個を作成し、そのほかにも各クラブから個性あるマスクットを寄付していただき、約9百個を配布することができました。

当日は、仕事や買い物目的の方々が騒然とした駅構内でしたが、かわいらしいちびっこサントが温かなマスクットを手渡すと、それまで険しい表情をしていたサラリーマン風の男性がたちまち笑顔になるなど、ほほえましい光景がみられました。この様子は、毎年テレビ局や新聞社など各報道機関に取り上げられてはいるほか、県下の各地域で単位母親クラブが行っている同様の活動も、大きく取り上げられています。これからも各単位母親クラブの協力のもと、活動の充実を図っていききたいと思います。(会長 加納 永子)

■中国・四国ブロック



みらい子育てネット・みはら

- 所在地 広島県三原市
- メンバー数 146名

子育ての当事者と
支援する私たち。
さまざまな人や団体を
つないだ1年でした。

広島県東部三原市で活動する団体です。今年度は、子育て支援に携わるさまざまな団体を、官民間問わずないでいくこと、そして支援者と子育て当事者をつないでいく、いわばネットワークの年でした。

8月には、昨年完成した三原市芸術文化センターポポロにて、三原市を拠点に活動するさまざまな子育て支援団体と三原市子育て支援課・保健福祉課・三原警察署などが一堂に会し、ファミリーフェスタを開催しました。当日はさまざまな体験コーナー(紙ひこうき教室・お茶席・クラフト・つきき教室など)を設け、親子で楽しんでもらうとともに、行政ブースでは、さまざまな子育ての悩み相談を行いました。また、2月にはファミリースポーツセンター広報事業として、親子で楽しめるファミリースポーツの後に、限定30名のママたちにストレッチ教室を開催、併せて初めての託児経験をしてもらい、ファミリースポーツセンターの提供会員との交流などを図りました。

このように支援者と子育て当事者が、顔と顔を合わせて、ともに考えていける環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。(代表 斎藤 佐代子)

■九州ブロック



鹿児島県地域活動連絡協議会

- 所在地 鹿児島県阿久根市
- メンバー数 3クラブ
128名

地域活動研修会を
2ブロックに分けて開催。
地域の活動を知る
よい機会になりました。

単位クラブ3クラブという、県地協としては全国で一番小さな組織です。それぞれの活動は活発ですが、県地協としての予算は単位クラブからの負担金のみ。会員研修もままならない状況にあります。そんな中、平成20年度ことも未来財団の委託事業で地域活動研修会のお話があったときには、うれしくてすぐにとびつきました。

薩摩半島の北と南で、2つのブロックに分けて研修会を開催。北薩会場では「まちの子はみんなわが子」すべての子どもが輝くために今私たちにできることを考えよう」をテーマに、パネリストが現在の取り組みの状況と地域への期待等を、会場からも学校の先生、民生委員、障がいを持ちながら働いている方等多くの意見が出され、地域の方々の活動を知るよい機会にもなりました。南薩会場ではこども未来財団・岡林氏の講演後、「子どもの発達と心理」についての講演、児童の事故防止・救急救命等について実技指導など。一日がかりでしたが、中身の濃い研修だったと好評でした。今回の研修は、私たちの地域組織活動を広く知っていただく良い機会となりました。(会長 堂之下 浩子)

事務局 NEWS

今年度の通信委員の皆さんです

21年度通信委員の皆さんをご紹介します。昨年に引き続き、情報提供などのご協力を、どうぞよろしく願います。

北海道・東北ブロック／竹内 峰子

母親クラブの活動紹介はもちろんのこと、さまざまな情報を提供しあい、私たちの活動に繋げてくれる広報誌に！

関東・甲信越ブロック／小林 睦子

隅々まで目を通していただく活動のヒントがつかめるように、皆様の多様な活動をこまめに取り上げる記事づくりができることと思います。

東海・近畿・北陸ブロック／加藤 愛子

全地協と会員の皆様のパイプ役になればと思っております。情報をお待ちしております。

中国・四国ブロック／伊賀上 恵子

読んで楽しい、見て納得の情報誌で、全国会員の心のネットワークをつなげたいと思っております。

九州ブロック／中川 久美子

話を耳を傾けてくれる人、笑顔を見せてくれる人に心癒されるとか…。穏やかに嬉やかに歩いていけたら！皆様の活力をいただきながら、がんばっていきたいと思います。

児童健全育成フェスタ2009

じどうかん・あそびの宝島

5月6日（水・振休）10時～15時
上野恩賜公園噴水池広場

児童健全育成推進財団が、児童福祉の理念の普及・啓発のために平成18年度より毎年実施している児童健全育成フェスタ。ステージでは子どもたちによるダンスなどのパフォーマンス、50以上のブースでは工作や昔遊び等の体験コーナーを展開しています。本会も協賛団体としてブースを出展します。子どもたちはもちろん、ご家族で1日お楽しみいただけるイベントです。皆さんぜひお越しください。

平成21年度「児童福祉週間」の標語が決定

子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種事業や行事を行っています。

毎年応募作品から選ばれる児童福祉週間の標語は次の作品に決定しました。

ありがとう
つたわるころが
うれしいよ

（玉田雄以さん 神奈川県）

ご応募いただいた皆さん、ありがとうございました。今年度も秋に標語の募集が予定されていますので、ふるってご応募ください。

通院・入院1日から補償！

活動中の会員への補償は大丈夫？

地域活動総合保険「みらい」は、単位クラブの活動をサポートする保険です。通院・入院いずれも1日から補償されます。今年度の保険開始日は5月20日となっていますので、お忘れなく。

■期間／平成21年度は5月20日から1年間です。

■掛金／年間大人1100円から
／年間子ども1000円から

●保険内容のお問い合わせやパンフレットのご請求、お申し込みは各県地協事務局または、全地協事務局まで。

情報・写真提供のお願い

表紙を
あなたの写真で飾りませんか

次号の機関誌作成にあたって、みなさんからの情報をお待ちしています。各クラブのおもしろい活動や自慢の活動など、事務局まで情報をお寄せください。また、表紙に掲載する写真も引き続き募集しています。クラブの活動中の写真であればなんでも結構です。採用させていただいた方には図書カードをプレゼントいたします。

- 送り先
左記の全地協事務局まで
- メールでの送付先
amino@hahaoya-club.ne.jp
- 締め切り
平成21年9月15日（火）

※本誌では以下の略号を用いることがあります。

全地協：全国地域活動連絡協議会
地協：地域活動連絡協議会
育成財団：（財）児童健全育成推進財団

母親クラブ

みらい子育てネットだより

発行／全国地域活動連絡協議会

〒150-0001
東京都渋谷区神宮前 5-53-1 10F
財団法人 児童健全育成推進財団内
TEL 03-3797-8183 FAX 03-3486-5142
<http://www.hahaoya-club.ne.jp/>